

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko

青森県八戸市出身 国際文化専攻修士 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』
現在 大阪府 太成学院大学 勤務

e-mail: leoshironeko@yahoo.co.jp



この号の内容

- 1 イタリア 神父、地震は「同性カップルの権利認めた罰」
- 2 EU 支部だより

- ・イタリア中部地震
- ・カトリック神父
- ・シビル・ユニオン



イタリア 神父、地震は「同性カップルの権利認めた罰」

2016年 11月 06日 14:42 発信地: ローマ/イタリアー

【11月6日 AFP】イタリア中部の地震で数百人が死亡し、1万数千人が家を失う被害が出たことについて、カトリックの神父が「同性カップルのシビル・ユニオン(結婚に準じた権利を認める制度)に対して神が与えた罰」だと発言した。イタリア中部では先月30日にマグニチュード(M)6.6の地震が発生。同国の地震としては36年ぶりの強さで、同じ地域を襲った強い地震としてはここ2か月で3度目となった。現地メディアによると、強硬派神学者として知られるジョバンニ・カバルコリ(Giovanni Cavalcoti)神父は地震当日の先月30日、カトリック系ラジオ局「ラジオ・マリア(Radio Maria)」で、地震が「特にシビル・ユニオンによる家族や結婚の尊厳に反する行為」に対する「神の罰」だとする主張を展開した。イタリアの報道によると、ローマ法王庁(バチカン)で政務を所管する国務省のナンバー2、アンジェロ・ベッチウ(Angelo Becciu)大司教はカバルコリ神父の発言について「信徒に不快感を与え、信徒以外の人に恥をさらすものだ」との見解を示した。ベッチウ大司教は地震の被災者に許しを求めるとともに、フランシスコ(Francis)法王は被災者と連帯し、被災者を支援する考えであることを改めて示した。ただ、カバルコリ神父は譲歩せず、別のラジオ局で地震の原因は「人間の罪業」だと述べ、バチカンには(信徒などに教理を解説する時に使われる)教理問答を読むよう促した。イタリアでは同性カップルのシビル・ユニオンを認める法律が先月施行されたばかりで、西欧諸国の中では最も遅れた。(c)AFP

EU 支部だより —奈良県 明日香村—

私は歩くのが好きだ。大阪の大学で勤務するようになってから、さらに歩くようになった。始めは、大阪の町中を歩いた。真田の抜け穴、茶臼山、大阪城、天王寺の七坂などガイドマップを片手に毎週末でかけたものだ。

今は、奈良県明日香村がマイブームとなっている。職場の友人が連れて行ってくれた、吉野の千本桜、奈良の大仏様をきっかけに、私の住んでいる富田林から以外にも奈良が近いことを知ったからだ。子供のころの歴史の勉強は、なんだかおとぎ話のようで、東北生まれの私には遠い遠い国のお話のようだった。それが今は違う。天の香久山、甘樫丘、飛鳥寺、謎の酒船石、曾我氏の首塚、石舞台古墳。それら本物を実際に何度も見たり触れたりすることができるのだ。

日本人の心のふるさと明日香散策の最後は、いつも道の駅でのお買い物だ。地元でとれた野菜や果物、お米やみそまで買い、重いリュックを背負って帰る。心身ともにリセットしてくれる明日香村マイブームはまだまだ続きそうだ。(松原)

- ・日本人の心のふるさと
- ・マイブーム

